



〈発行〉名古屋芸術大学
子どもコミュニティーセンター

絵本を身近に

はじめまして。私は、名古屋芸術大学で小学校教員養成の理科に関する科目と、全学共通科目の自然科学に関する科目を担当している東條文治と申します。再び愛知県を含む多くの都府県に緊急事態宣言が発出され、育児・子育てにもご苦労が多い事と推察いたします。外出も難しく、家で時間を過ごすことが多いのではないのでしょうか。このような状況下で、子どもに絵本を読み聞かせる機会も増えていませんか。

絵本は楽しみながら、知識や教養を身に付けたり、想像力を育み、子どもの自己形成を助ける役割があるといわれています。名古屋芸術大学人間発達学部では、今年度から認定絵本土という資格が取得できる講座を開講しています。学生はこの講座を受講し単位を取ることで、絵本を保育・幼児教育の場で活かすことができる能力を身に付けることができるのです。私もこの講座30回のうちの1回分を担当させていただきました。「科学絵本」についての講座です。

「科学絵本」とは、簡単に言うと「子どもたちに自然や科学に対する興味関心を抱かせ、それをさらに伸ばす絵本」といったものです。子どもたちは、自然の神秘さや不思議さに触れると、興味が湧いてもっと知りたくなります。また、日常生活の中で自然の中に、なぜ、どうして、という疑問を自発的に抱くこともあるでしょう。そういった疑問に答えるという役割もあると思います。せっかくですので、2つほど「科学絵本」を紹介したいと思います。

1つ目は、「てのひらおんどけい」（浜口哲一/文・杉田比呂美/絵）です。パパと散歩をしている男の子が公園へ向かう道すがら、さまざまな物に手を触れると、温かいものと冷たいものがあることに気が付きます。公園でも日なたと日かげで温かさに違いがあることに気が付きます。小学校3年生の理科では、日光には物を温める働きがあり、日なたと日かげで温度が違うという学習をしますが、この絵本では、温度の違いの原因については記述がありません。これは、疑問を投げかけることで、読者である子どもたち自身の考える力、外に出て自分の手で違いを確かめる行動力を引き出す効果があるのだと思います。

2つ目は、「しもばしら」（野坂勇作/作）です。冬の畑にできた霜柱を踏みしめた時の、サクサク、という音に気が付いた子どもがおばあちゃんに霜柱について尋ねます。なんだろう、どうしてできるのだろう。さまざまな場所で霜柱を観察し、謎が深まっていきます。その夜、おばあちゃんから、霜柱ができるときの気象条件と、霜柱のつくり方を教えてもらうのです。霜柱は地中の水分が、地表で冷やされ氷になると、毛細管現象によってさらに地中から水分を吸い上げ、霜柱の下に氷が付加成長する形でどんどん伸びていくのです。霜柱の成長は石を持ち上げてしまうほどです。この絵本は冷蔵庫で霜柱を作る方法も描かれていて、観察と実験を通して謎を解決するという、科学的なものの見方・考え方を教えてくれる絵本です。

絵本はさまざまな種類のものがあります。ぜひ、こういった機会に絵本を手にとってもらって、育児・子育ての中で活用してみたいはいかがでしょうか。

人間発達学部准教授 東條文治

どうぶつ体操

コアラ・・・子どもが大人にだっこでつかまります。大人はその場で3回まわります。

サル・・・子どもが大人の首につかまり、足も大人の体にまわして、落ちないようにします。
このとき、大人は両手を広げて、5つ数えます。

カエル・・・子どもがジャンプして手が届くくらいの高さに、大人が腕を上げ、子どもは飛び上がってその腕にタッチします。

コアラ

3回まわる



サル



カエル



絵本の紹介



作：たむらしげる
出版社：福音館書店

ごろんごゆきだるま

雪の降り積もった地面の上を、白くて丸いものがごろごろ転がってきました。もう一つ白い玉が、今度はどすん、どたと跳ねてきて、その上に乗っかります。すると元気で好奇心いっぱいの、雪だるまの誕生です。雪だるまも背景も、すべて布で作られています。作者が自分で色を染めて、一針ずつ手縫いで作った、まさに手作りの絵本です。



文：はせがわせつこ
絵：やぎゆうげんいちろう
出版社：福音館書店

くらくらい

暗い部屋で、電灯のスイッチを入れることによって、一瞬のうちに闇が光へと変わる喜びをユーモラスに描いた画期的な赤ちゃん絵本です。誰だかわからなかった黒い影が、ページをめくると、スイッチを入れて(スイッチタイプもいろいろです)、明るい光のなかでこっちを見て笑っています。つぎつぎあらわれる影が、誰なのかを想像するのもこの絵本の大きな楽しみです。

手作りおやつの紹介

チョコでおめかしホットケーキ



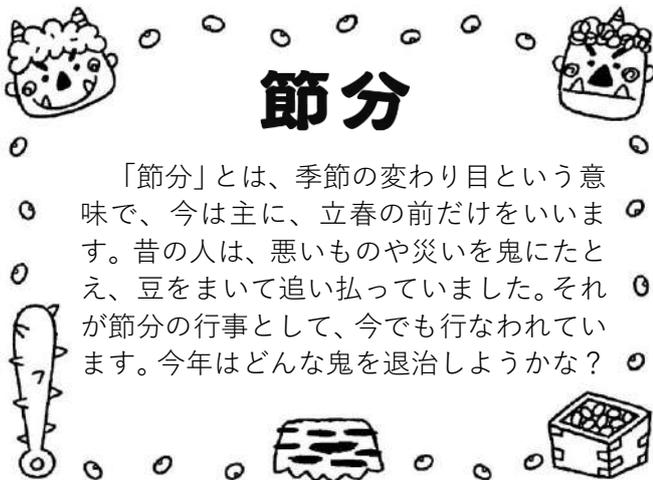
市販のホットケーキミックスを使います。

好きな食材で自由に飾って、お絵かきをしましょう。



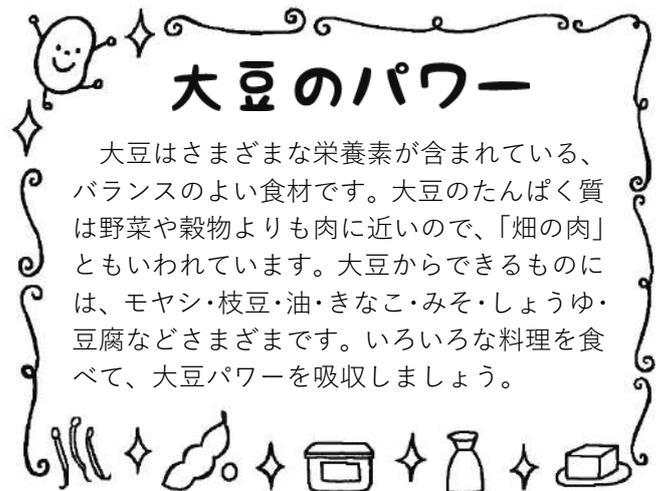
作り方

ホットケーキを焼き、とろけたチョコレート、粒状のチョコレートなどで飾りつける。



節分

「節分」とは、季節の変わり目という意味で、今は主に、立春の前だけをいいます。昔の人は、悪いものや災いを鬼にたとえ、豆をまいて追い払っていました。それが節分の行事として、今でも行なわれています。今年はどうな鬼を退治しようかな？



大豆のパワー

大豆はさまざまな栄養素が含まれている、バランスのよい食材です。大豆のたんぱく質は野菜や穀物よりも肉に近いので、「畑の肉」ともいわれています。大豆からできるものには、モヤシ・枝豆・油・きなこ・みそ・しょうゆ・豆腐などさまざまです。いろいろな料理を食べて、大豆パワーを吸収しましょう。



雪で遊ぼう

雪が降ったらこんな遊びもしてみましょう



雪だるま・雪うさぎ作り

氷を作ろう



寒い日には、バケツやコップなどの空き容器に水を入れて外に置いておきましょう。どこに置くと氷ができるかな？



はさみの使い方

①はさみを使う前に

はさみを使う前に「おやくそく」として、

- ・座って使う
 - ・刃先を自分や人に向けない。
 - ・渡すときは持ち手を相手に向ける。
 - ・使い終わったら刃を閉じる。
- など、ルールを守ることを伝えましょう。

②はさみの選び方

子どもの手の大きさに合わせてにぎりやすいものを選んでください。

③はさみの教え方

大人がはさみを持っている様子を見せる。



「こうやって持つよ」

はじめのうちは隣に座って使っているところを見せてあげましょう。

紙を切る前に、はさみを垂直に立てて刃を開いたり閉じたりすることを教えましょう。

はさんではさんで



洗濯ばさみは、手指の力を使うぴったりの素材です。いろいろな物をはさんで遊びを楽しみましょう。

はさみの練習ステップ

1 回切り

はさみを1回だけ動かして切ります。

1回で切れる幅に細長く切った紙を使って、「ちょきん」と切り落とします。

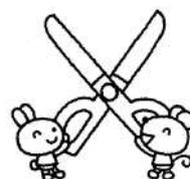
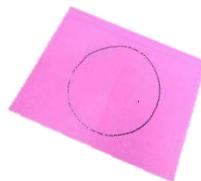


直線切り

1回切りの時よりも幅の広い紙を使い、はさみを開いたり閉じたりを繰り返して、まっすぐに長い距離を切ります。難しいところは、完全に刃を閉じずにはさみを前に進めることです。

曲線切り

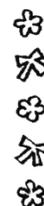
直線切りに慣れてきたら、はさみの向きを変えながら曲線を切ります。はさみを動かすだけでなく、紙のほうを動かして切れるようにアドバイスをすると良いですね。



子育てメール相談



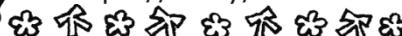
メールで子育て相談を実施しています。しつけ、遊び、ことば、発達など子育てに悩んだときや困ったときは、お気軽にご相談ください。メールの回答までには1~2週間程度お時間がかかる場合もあります。ご了承ください。



ご相談フォーム →



<https://bit.ly/2FMJEct>



← HP



← Twitter